

東京都立両国高等学校 附属中学校



令和8年度入学生用 学校案内

未来への架け橋



未来を切り拓き、
世界の人々幸せに貢献する人を育てたい

校長 鳥屋尾 史郎

本校は明治34年（1901年）に東京府第三中学校として開校以来、自ら考え自ら学ぶ「自律自修」を校訓とし教育活動をおこなっています。120年を超える学校史の中からは、芥川龍之介、堀辰雄、立原道造、深代惇郎、川端龍子、浅沼稻次郎、吉村順三、早川正昭、半村良、大塚範一、松沢哲郎など、数多くの日本を代表する知性を世に送り出し続けてきました。こうした優れた卒業生が次々に育っていく教育環境、学習環境こそが、本校の最も誇るべき点と考えています。

附属中学校は平成18年（2006年）に設置され、府立三中以来の教育活動を中学校、高等学校の一貫教育として進めていくようになりました。附属中学校においてもアメリカ・ユタ州に10日間滞在するスタディツアーや、生徒のプレゼン等言語活動を重視する英語教育、思考力を高め論理的に表現する数学教育、実験・観察を取り入れ探究を重視する理科教育など、高いレベルの授業を実施し、生徒たちの力を大きく伸ばしています。特に中学3年生で実施するスタディツアー in ユタでは、ホームステイを経験することで、生徒たちは英語力を大きく伸ばすとともに、将来の国際人としての国際感覚を身に付けることができ、人間としても

大きく成長していることが感じられます。

現在、世界は解決が困難な気候変動などの課題を抱えている一方で、AIに代表されるテクノロジーによって大きく変革していく潮流にあり、将来の見通しがきわめて立ちにくい状況にあります。未来を生きる子供たちには、どんな困難な状況であってもそれを乗り越えていく力を身に付けさせたい。そのためには生涯にわたって柔軟に新しい知識や技術を習得していくことができる力や、最適な選択、正しい判断を行いながら目標を達成するための努力を継続できる力を育てていかなければなりません。

両国は質の高い授業や海外でのスタディツアーなどの体験的な活動、キャリア意識を育てる「志学（こころざし学）」によって生徒たちを大きくたくましく育てています。そして、日本を代表するこれまでの優れた卒業生と同様に、生徒たちには知性ある人々の一員として未来を切り拓く人となっていくこと、世界の人々の幸せに貢献できる人に成長していくことを目指していきます。この学校案内が両国を目指す子供たちの応援のメッセージとなることを心より願っております。

本校の概要

伝統

生徒・卒業生と教職員の努力、そして地域の方々の理解と協力で支えられた120年を超える歴史のある学校です。「自律自修」を教育方針としています。

授業

本校の基本は授業です。基礎をしっかりと固めたら、課題の探究や高いレベルの内容へと発展します。授業はチャイムとともに開始され、特別な事情がない限り授業を欠かすことはせず、「授業を大切にする」を基本方針として指導しています。

育てたい生徒像

- ・自らの未来を切り拓く意欲と行動力を持ち、リーダーとして活躍できる生徒。
- ・広く深い教養と知性を身につけ、社会に貢献しようとする高い志と使命感を持った生徒。
- ・健やかな心と体を持ち、世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒。

沿革

- 1983(昭和58)年 現校舎完成
- 2001(平成13)年 創立百周年記念式典挙行
- 2006(平成18)年 附属中学校開校
- 2009(平成21)年 中高一貫教育校の教育課程での高校がスタート
- 2011(平成23)年 創立百十周年記念式典挙行
- 2021(令和3)年 創立百二十周年記念式典挙行

本校出身の著名人

- ・芥川龍之介（作家）
- ・堀辰雄（作家）
- ・石田衣良（作家）
- ・立原道造（詩人）
- ・小池昌代（詩人）
- ・杉山寧（日本画家）
- ・新田ユリ（指揮者）
- ・大河内一男（元東大総長）
- ・郷通子（元お茶の水女子大学学長）
- ・深代惇郎（「天声人語」コラムニスト）
- ・大塚範一（アナウンサー）
- ・関野吉晴（医師・探検家）

他多数



教育課程

TOPIC2

中学校 教育課程表

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語		社会 (人と社会)			数学			理科			英語			音楽	美術	保健体育		技術・ 家庭			道徳	特別活動	総合						
2年	国語		社会		数学			理科 (人と自然)			英語			音楽	美術	保健体育		技術・ 家庭		道徳	特別活動	総合								
3年	国語		社会 (人と文化)			数学			理科			英語 (実践英語)			音楽	美術	保健体育		技術・ 家庭	道徳	特別活動	総合								

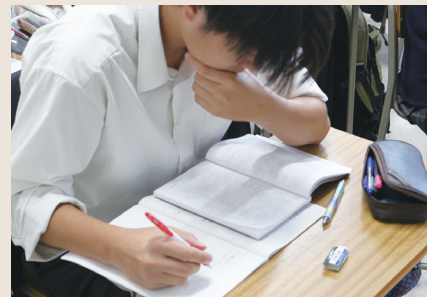
高等学校 教育課程表

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	現代の 国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学 A	化学基礎		物理基礎 地学基礎 より 1科目 選択		体育	保健		音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ より 1科目 選択		英語 コミュニケーション Ⅰ		論理・ 表現Ⅰ		情報Ⅰ		総合的な 探究の 時間		ホーム ルーム				
2年	文学国語		古典探究		公共		数学Ⅱ		数学 B	生物基礎	体育	保健		英語 コミュニケーション Ⅱ		論理 表現Ⅱ		家庭基礎		日本史探究 世界史探究 物理 化学 より 1科目選択		探究的な 時間		総合的な 時間		ホーム ルーム							
3年文系	論理国語		体育		英語 コミュニケーション Ⅲ		論理・ 表現Ⅲ		日本史演習Ⅰ 世界史演習Ⅰ より 1科目選択		古典演習	古典講読		英語特講 数学C より 1科目選択		日本史演習Ⅱ 世界史演習Ⅱ 文系数学演習 音楽Ⅱ 美術Ⅱ より 1科目選択		自由選択				ホーム ルーム											
3年理系	論理国語		体育		英語 コミュニケーション Ⅲ		論理・ 表現Ⅲ		数学C	物理演習 化学演習 より 1科目選択		理系数学演習 数学Ⅲ より 1科目選択		化学 生物 地学 より 1科目選択		自由選択					ホーム ルーム												

※1年次「総合的な探究の時間」の1時間は、都設定科目「人間と社会」として代替履修する

POINT!

- ・難関国公立大学等の入学試験に必要な大学入学共通テスト7教科8科目に対応したカリキュラム編成です。
- ・難関国公立大学等の二次試験に対応したカリキュラム編成です。
- ・「総合的な探究の時間」は、高校1、2年の2年間で学習します。
- ・各教科の授業では、思考力や判断力を重視した指導を行っています。
- ・各教科の指導において、6年間を見通した一貫した教科指導を行っています。



世界を見据えた国際理解教育

国際人として自他の伝統・文化を尊重し、様々な分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

①海外学校間交流

海外の学校との交流を積極的に推進する学校として、東京都教育委員会から指定を受けています。令和3年度に、カンボジアのバイヨン中等学校と姉妹校締結を結び、定期的に姉妹校交流を行っています。高校では12月末に姉妹校での文化交流を含むスタディーツアー（「私の未来を探す旅」）を行っています。現地で国際支援を行っている日本の方々と訪問したり、海外の同世代と接したりすることで異なる文化や考え方、キャリアに触れ、ダイバーシティ（多様性）を尊重できる経験をします。

②スタディーツアー in ユタ

中学3年生は、夏季休業中にアメリカ合衆国ユタ州で9泊10日のスタディーツアーがあります。1人家庭を目指したホームステイ、現地の大学と連携した英語学習、現地中学生との交流、アクティビティなどを通じて、アメリカの自然・環境・文化・教育などを肌で感じます。また、授業で身につけた英語が相手に通じるという体験が大きな自信につながり、高校でさらに高度な実践英語を学び続ける上での原動力となっています。

③特色ある英語教育

中学でのスタディーツアー in ユタ、高校での姉妹校訪問等の国際文化交流を念頭に、中学では、单元ごとの発表活動に加えて、「東京の魅力」「日本の伝統と文化」を紹介するプレゼンテーションを実施しています。さらに英語落語の第一人者を招き、実演や指導を受けながら生徒は、英語の落語や小噺に挑戦します。他にも、生徒全員が英語ディベートに取り組み、都立中高一貫校大会や全国大会へ出場し、団体、個人で大きな成果につながっています。多様な言語活動を通じて自ら進んで積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を醸成しています。

・英語検定の実績

中学校は、実用英語技能検定（英検）に全員で取り組んでいます。本校は、海外帰国・在京外国人生徒等の特集募集を行っていませんが、令和5年度は、中学卒業時までに在籍生徒の50%が英語検定2級を取得（中3在籍生徒の91%が準2級を取得）。中学校で英検準1級を目指す生徒（令和5年度延べ10人）が増え、準1級に4人が合格。海外生活の経験はなくても、中学から本格的に英語を学び始め、学校の授業や課題に真摯に取り組み地道に努力し続けることで、高校入学までに海外の学校と交流を図る際に十分な英語力が身につきます。また、近年、高校在学中に海外留学する生徒や、海外の大学に進学する生徒もいます。



英語による コミュニケーション

日本人と外国人講師（ALT・JET）による協働授業が行われ、また、JETは常駐しているので、いつでも生の英語に触れる機会があります。

「入学してすぐは、ALL ENGLISHでの授業に驚きましたが、次第に英語を英語のまま理解できるようになってきました。」（在校生）
6年間の中で全員が必ず英語ディベートに挑戦します。「留学経験がない私ですが、昼休みや放課後も気軽にJETの方と会話ができたおかげで、今では大学のディベート部に所属しています。」（卒業生）

外国人講師による授業でのライブ添削、また放課後の添削指導もあり、外部検定・大学受験対策に必須の英作文も含めて実践的なライティング力の育成も行っています。



言語能力の育成

すべての教科でグループ活動やスピーチ、プレゼンテーションなどの、対話的な学びを通した言語能力の育成をしています。

ディベートやパネルディスカッションでは相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めていきます。また、表現を工夫して小説や短歌、俳句などの創作活動や論文の執筆活動を行います。

これらの活動を通して、豊かな言語能力を養成していきます。



教育の柱

理科・数学教育の充実

数学教育では、正しく解答を導く技能を習得することに加えて、答えに至る過程を論理的に表現することを重視した指導を行っています。理科教育では、実験・観察を多く取り入れ、知識のみに偏ることなく、科学的な考察力・表現力を高める授業を実施しています。また、グループでの話し合いや発表活動を通じたコミュニケーション能力の向上にも力を入れ、生きていくために必要な総合力を身に付けさせることを目標としています。



「志学」

本校では、中学校で実施しているキャリア教育活動を総称して「志（こころざし）学」と呼んでいます。この名称は本校の校歌の一節から着想を得ており、「学問への情熱と社会貢献のための志」の精神を将来のキャリア選択における軸に据えてほしいという想いが込められています。広い知見を得るために多様な職業の方々のお話を伺うだけでなく、職場体験等を通じて現場でしか得られない経験も重視しています。そうして得られた「志」の芽をその後の「総合的な学習の時間」などにおいて更に育んでいきます。



各科の特色

TOPIC4

国語科 Japanese

両国の国語科は、「自ら考え抜く力と他者と分かち合う力」を育てます。卒業後の進路実現に向けて、しっかりとした学力を定着させるだけでなく、他者との関わり合いの中で長い人生を生きていくために、言葉を通して深くじっくりと考える力を育て、考えたことを言葉によって広げたり深めたりすることができる力を養成します。中学校ではさまざまなジャンルの作品の鑑賞や創作活動などを行い、基礎的な読解力と表現力を育てます。高校ではあらゆるジャンルの文章を正確に読み取る能力を養うとともに、言語活動を通して自己を取り巻く世界に対して問題意識を持ち、自らの意見を明確に表現する能力や、それを伝え合い、分かち合う力を養成します。



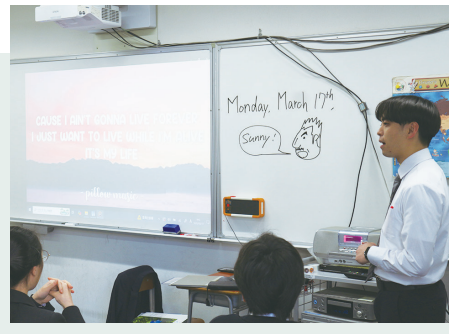
数学科 Mathematics

両国の数学科では、6年間の体系的な指導を通して、基礎・基本を徹底し、数学の基本的な概念・原理・法則などを理解するとともに、これらに応用する能力を養います。授業においては、数学的な思考力を高め、答えを導き出す過程を論理的に表現することを重視した指導を行っています。生徒が演習問題の解き方を発表する授業や、グループワークを取り入れた授業も行い、自分の考えを工夫してわかりやすく他者に伝えたり、他者と話し合いながらいろいろな解法を比較・検討したりすることで、生徒の表現力を高めるとともに、主体的に学び、深く考える力を育成します。



英語科 English

大学入試にも通じる揺るぎない英語力と実践的コミュニケーション能力を養成します。21世紀型の学力を有するグローバルリーダーの育成を目標に、中高問わず英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく習得し、実践的コミュニケーション能力の向上を図る授業を行っています。「話すこと」を中心とした授業を展開し、批判的思考力を高めていきます。特に、単元ごとに全員が行う英語でのプレゼンテーションは、本校の伝統です。6年間の様々な特色ある授業を通じて、留学経験がなくても中学修了時で9割程度が英検準2級以上、5割以上が英検2級以上、高校卒業時で半数近くが準1級以上、または、同程度の英語力を有し、共通テスト・国公立大学入試だけでなく（4技能を重視する）私立大学入試等に対応する英語力が自然と培われていきます。



社会科 Social studies

社会科では、社会的な見方・考え方を働かせ、諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質能力の育成を目指します。中学1年生では地理と歴史、中学3年生では公民分野を、調べたり、グループで話し合ったり、発表をするなど、皆さんが主体的に参画し学びます。高校では、社会科が地理歴史科と公民科に分かれます。地理歴史科では、「地理総合」「歴史総合」が必修科目で、「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」を選択科目として学びます。公民科では、「公共」が必修科目で、「倫理」「政治・経済」を選択科目として学びます。各科目を専門とする先生方の授業を通じて、新課程の大学入試にも十分対応した深い学びを得られます。



理科 Science

実験・観察を多く取り入れ、科学的に探究する方法を重視した授業を実施しています。また、中学においても分野別に専門の教員がほとんどの授業を担当し、発展的な内容にも積極的に取り組ませています。グループでの話し合いや発表活動も日常的に行い、活気のある授業を展開しています。夏期講習は多数の講座を開講し、受験対策にも万全を期しています。実験の一例：オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質（GFP）の遺伝子を組み込んだプラスミド DNA を、大腸菌に導入して発現させ、大腸菌を光らせる実験を、高校3年生の理系生物選択の講座で実施しています。実体験を通して遺伝子発現の仕組みや無菌実験操作について学ぶことができます。



中学生徒会より

TOPIC5



行事予定

修学旅行(高2)は今後変更となる可能性があります



4月	5月	6月	7月
入学式 新入生歓迎会 校外学習	中間考査 校内模試(高3)	体育祭 GTEC(高校) 漢字検定(中学) 国内語学研修(中2) 医学部志望者説明会(高校)	期末考査 スタディツアーinユタ(中3) 校内模試(高校)
8月	9月	10月	11月
夏期講習 部活動合宿(高校)	文化祭 英語検定(中学)	中間考査 校内模試(高3)	職場体験(中2) 生徒総会(中学)
12月	1月	2月	3月
期末考査 球技大会(高校)	GTEC(中学) 百人一首大会(中学) 修学旅行(高2) 卒業研究発表会(中3)	合唱コンクール	学年末考査 校外学習 球技大会(中学) 探究最終発表(高校) 卒業式

夏服
SUMMER



冬服
WINTER



TOPIC6

部活動紹介

TOPIC7

運動部 Sports club



文化部 Culture club



TOPIC8 進路指導

“第一志望大学への進路実現”。これが本校の進路指導の第一目標であり、みなさんの夢の実現への第一歩です。校訓である「自律自修」の精神にのっとり、日々の授業や行事の中で自分の進むべき道を見つけられるように、みなさんを全力でサポートします。

本校の自慢は、難関大学挑戦者の合格率の高さと、国公立大学への進学率の高さです。倍率約3倍の東京大学に、近年は挑戦者の4～5割が合格しています。1学年160名、少人数ならではの手厚い学習指導と、保護者と学校が連携して生徒を支える「チーム両国」の進路指導により、高い合格率を実現させています。

基礎・基本の充実 進路実現への土台作り

両国での1日は始業前の朝学習から始まります。中学1年生から高校3年生まで毎日、基礎的な内容を確認する小テスト、基礎教養習得のための読書等を行っています。その他、定期考査後の追試験、提出が求められる授業の課題もたくさんあります。長期休業期間には、目指すレベルに応じて選択できる多様な講習も準備されています。大学入試問題の分析に裏打ちされたハイレベルな日々の授業に加えて、このような学習活動にも毎日こつこつと努力する。その積み重ねが、難関に立ち向かうための土台を作っていきます。まずは、基礎・基本の充実に努める。実はこれこそが、予備校に頼らずに高い合格率を生み出す秘訣なのです。

国公立大学	令和3年			令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
	118期			119期			120期			121期			122期		
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
東京		1	1	5	1	6	5	1	6	8		8	7		7
京都				2	1	3	1	1	2	1		1	1		1
東京科学 (旧東工)	2	1	3	4		4	2	1	3	2		2	2	1	3
(旧医科歯科)	1		1	1		1	2		2			1			1
一橋	2	1	3	3	1	4	3		3			1			1
北海道	2		2	3		3	2		2			1			1
東北	5		5	3	2	5	1		1	2		2	1		1
名古屋	1	1	2							1		1	2		2
大阪												1			1
神戸	1		1						2	2					
九州										1		1			
筑波	2		2	5	1	6	5	8	13	10	4	1	4	2	3
千葉	14	1	15	14		14	8	1	9	8		8	7	1	8
お茶の水女大	1		1	1		1	4		4						
横浜国立	2		2	5		5	2		2	2		2			
東京外国語	3		3	3		3	2		2			2			2
東京農工				1		1				2		2	1		1
東京都立	4		4	5	2	7	3	1	4	4		4	2		2
電気通信	1		1				1		1						
東京海洋	2		2	1		1				1		1	2	1	3
東京学芸		1	1							2		2			
信州		1	1				2		2						
山梨		1	1							3	1	3	1		1
弘前	1		1											1	1
国際教養													1		1
新潟													1	1	2
鳥取													1		1
福島県立医科							1		1				1		1
埼玉県立				1		1							1		1
横浜市立	2		2	1		1								1	1
合計	59	9	68	71	7	78	57	7	64	53	1	54	39	9	48
うち医学部 医学科	2	1	3	3		3	6	1	7	4		4	1	2	3

小数字は医学部医学科合格者

令和7年度 現役進学先
現役進学決定率 91.0%

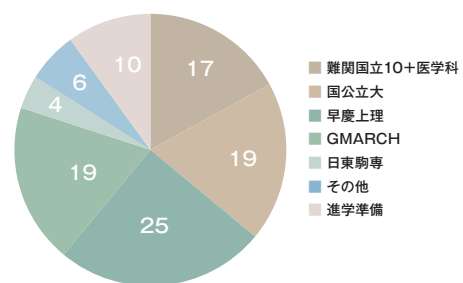
発展的教育活動の展開 未来へ向けての飛躍

世の中の変化が速くなり、先を見通しにくい時代が到来しています。八方ふさがりに見える状況の中で、解決への手がかりを見つけ出し、なんとか突破口を切り開いていく。次代のリーダーには、そんな力が求められます。あるときは教科学習で難関に立ち向かい、あるときは探究学習で社会課題の解決法を検討し、またあるときは国際交流学习で異文化に一步踏み出す。本校はそういった教育活動を通して、みなさんの突破力を鍛えていきます。未知の問題の解決は、一人ではなかなか難しい。ペアワークやグループワークで他者と協働する発展的学習活動の中で、“基礎・基本の充実”により身につけた確かな学力を応用していく。そしてそのことによりまた、基本の理解が深まっていく。こうしたインプットとアウトプットの繰り返しが、みなさんをより深い学びに導くとともに、将来にわたって未来を創造していく力を養っていきます。

6年間の学習を通して、様々な分野で活躍する社会人を多数輩出してきた両国高校の学びの神髄にぜひ触れてほしいと思います。

過去5年間の大学合格者数

私立大学	令和3年			令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
	118期			119期			120期			121期			122期		
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
早稲田	22	8	30	37	9	46	39	6	45	43		43	45	4	49
慶應義塾	12	7	19	19	5	24	35	3	38	15	1	16	16	2	18
上智	27	1	28	9	9	18	27		27	13	1	14	25	1	26
東京理科	36	2	38	53	6	59	50	1	51	33		33	30	6	36
国際基督教	1		1	1	1	2									
明治	58	4	62	42	5	47	66	3	69	36	1	37	56	4	60
青山学院	16	3	19	14	8	22	16	4	20	14		14	11	1	12
立教	30	4	34	28	6	34	41	2	43	29		29	15	5	20
中央	30	6	36	20	4	24	30	4	34	17	1	18	22	3	25
法政	32	6	38	35	6	41	46	2	48	19	3	22	37	2	39
学習院	6		6	10	2	12	10	1	11	9	1	10	3		3
日本	42	2	44	28	2	30	44	1	45	20	1	21	17	3	20
東洋	41	4	45	40	7	47	35	3	38	21		21	22		22
駒澤	6	1	7	4	1	5	11		11	4		4	2	1	3
専修	13	2	15	10		10	7	1	8	8		8	3		3
成蹊	6		6	2		2	11	1	12	6		6	2	1	3
成城	5		5	4	2	6	13	1	14	10		10	2		2
明治学院	6	2	8	14		14	14	2	16	14	3	17	7	1	8
芝浦工業	9	8	17	15	3	18	11		11	14		14	5		5
東京農業	10		10	3		3	17		17	3		3	4		4
日本女子	5	3	8	12		12	5	4	9	8		8	5	1	6
東京女子	8	1	9				6		6	5		5	4		4
津田塾	5	2	7	1		1	5	3	8	6		6	2		2
北里	7	1	8	7	5	12	6		6	8	1	9	3	1	4
合計	562	103	665	553	90	643	676	48	724	510	40	550	395	53	448
うち医学部 医学科	1	4	5	6		6	2		2	1		1	1	2	3



在校生・卒業生の声

笑顔と個性あふれる学校

附属中学校 生徒会長

私が本校に進学した理由は大きく二つあります。一つ目は明るさです。初めて学校見学に来たとき、先輩方の明るく元気な挨拶から、ここは活気にあふれた学校だと感じました。二つ目は英語教育です。本校では英語の授業がオールイングリッシュで行われています。私は興味のあった英語力を高めるために本校を選びました。入学後、英語力が大きく伸び、以前は苦手だった発音も今ではより自然にできるようになりました。

本校の魅力は、何と言っても個性豊かなところです。みながそれぞれの強みを持ち、それが雑談やグループワークを通じて新しいアイデアや視点を得るきっかけになります。授業でも助け合いながら温かい雰囲気の中で勉学に励んでいます。もちろん、勉強だけでなく、様々な行事も充実しています。私が一番好きな行事は体育祭です。両国の伝統を感じられるこの行事では、中高生が一体となって競い合い、笑いあり、涙ありの最高の思い出を作ることができます。

受験生の皆さんへ。本校での楽しい学校生活を思い描きながら、受験に向けて全力を尽くしてください！皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。



両国の6年間

東京大学 文科一類 進学

両国高校・附属中学校で過ごした6年間は振り返ってみると、とても充実したものでした。学校行事や宿泊行事が楽しかったのはもちろん、何より生徒の興味を引く工夫された授業を毎日受けられたことで学校に通うのがとても楽しかったです。私が学びたいこと・行きたい学部を決めたきっかけも授業で扱われた内容でした。授業が進むうちにいつのまにかもっと学びたいと思うようになっていました。また、学習意欲が高い友人や同級生に出会えたことも大きな財産になりました。行事や部活など学校生活を目一杯楽しみつつ、定期考査や英検などに向けた勉強に熱心に取り組む周囲の姿勢、向上心の高さに刺激を受け、自分の勉強への向き合い方が形成されたのだと思います。受験期は同級生達をライバルのように感じる一方で、一緒に頑張っている仲間として心強くもありました。学校生活の大きな割合を占める授業を楽しく受けられたことと、尊敬できる友人に恵まれたことにとっても感謝しています。皆さんにも貴重な6年間で両国で過ごしていただきたいです。



自分を見つけられる場所

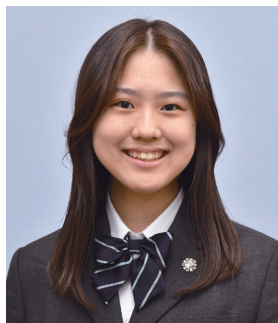
高等学校 生徒会長

あなたは将来どんな人になりたいですか。

この漠然とした問いに対して自分なりの答えを探すことが出来る場所が両国高校・附属中学校だと思います。

私が一番楽しさをもって臨んでいるのは中学校での志学、高校での探究の授業です。これらの授業では多様な価値観に触れて社会課題について学び、関心のあることについて研究することが出来ます。他文化を知る機会はたくさんあっても、それに「触れる」機会は多くはない中で、本校では様々な方にお会いする機会が授業の中で多く設けられています。自分とは異なる背景を持った人と実際に話してみることで他文化に興味をもったり、または、自文化を深堀したりすることに繋がります。このように学びを自分事にして落とし込む過程を通して、自分の心が動く瞬間を感じ取り、熱意をもって取り組みたいと思う物事に気づくことが出来ます。こうした気づきが自身の主軸となり、進路を決める際などに大きく役立ちます。

本校に入学したことで、将来について具体的に考えるようになり、自分の理想とする将来像がクリアになってきたと実感しています。皆さんにも本校で学びを深め、充実した日々を送っていただきたいです。お待ちしております！



6年間の学びと成長

静岡地方裁判所 沼津支部判事補

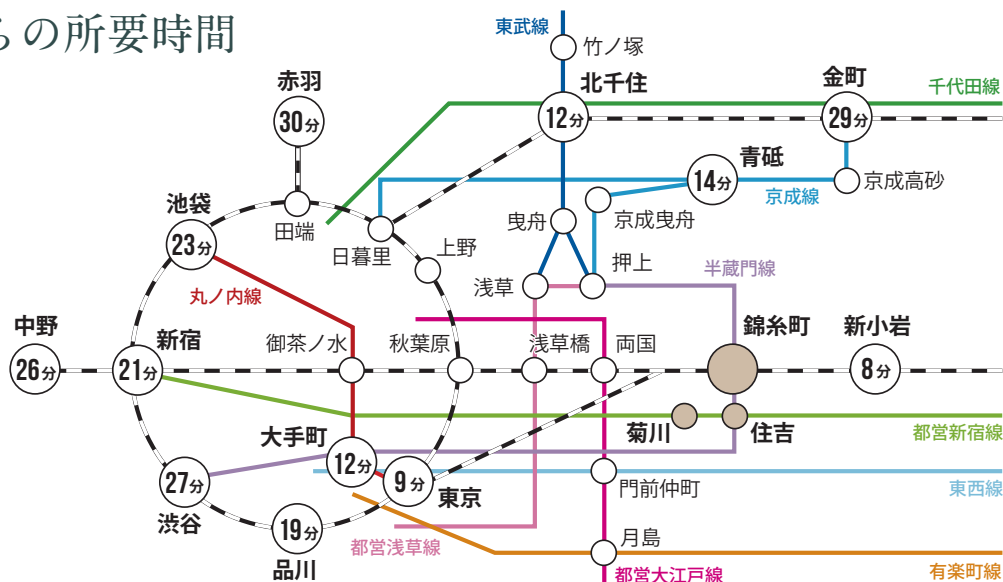
両国での6年間で、私は多くのことを得ることができました。

勉強面でいえば、例えば中1のときから、先生が終始、英語でしか話さない授業がありました。初めは何を言っているのかさっぱりでしたが、徐々に耳が慣れていき、自然に意味が分かるようになっていきました。そのような授業のおかげで、私は中3で英検2級に合格することができました。高3のときには、各科目の先生方に、丁寧な添削指導を始め、とても熱心に受験指導をしていただきました。現役で一橋大学に進学し、最終的に小さい頃からの夢であった裁判官になれたのも、ひとえに両国の先生方のおかげだと思っています。

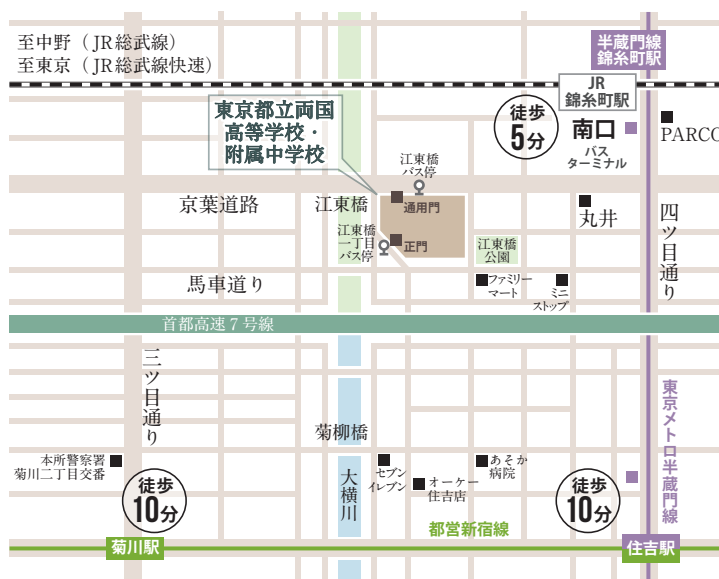
体育祭、文化祭、合唱コンクールなど行事も盛りだくさんで、6年間で同級生とのたくさんの思い出ができました。部活動では、中高合同で活動する管弦楽部で、中1から高2まで、がっつり音楽に打ち込みました。途中からはOBOG団体の淡交フィルハーモニー管弦楽団に参加して、卒業生でもある指揮者の新田ユリ先生のご指導も受けながら、本格的な演奏会も経験できました。

両国でなら、きっと充実した6年間で過ごせるはずです。OBOGの一人として、皆様の入学を心よりお待ちしております。





- JR総武線・東京メトロ半蔵門線
／錦糸町駅 徒歩5分
- 都営地下鉄新宿線
／住吉駅 徒歩10分
／菊川駅 徒歩10分
- 都営バス停留所
／江東橋 徒歩1分



見学会

説明会

出願手続等説明会

授業公開

■ 10月25日(土)

オープンスクール

■ 8月6日(水)

その他 夏季休業中にミニ見学会を予定しています。

詳細は学校webサイトでご案内いたします。



〒130-0022 東京都墨田区江東橋 1-7-14

TEL: 03-3631-1878 (中)

03-3631-1815 (高)

FAX: 03-3846-6682



<https://www.metro.ed.jp/ryogoku-h/>